

宅地被害の参考事例

地震や大雨などにより、どのように宅地又は宅地を保護している擁壁は被害を受けるでしょうか。被害事例を紹介します。

① 宅地地盤の亀裂



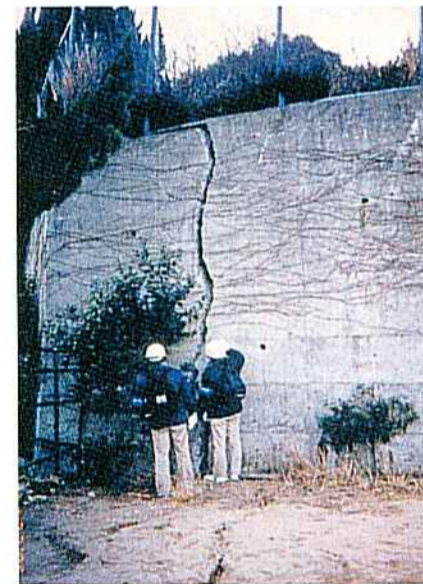
宅地地盤に円弧状にひび割れが生じています。擁壁が転倒する可能性があるため、擁壁の状態を確認する必要があります。

② 練積造擁壁の亀裂



斜めのクラック（≒ひび割れ）が、縦横や両方の要因により、ブロックの目に沿って生じています。

③ コンクリート系擁壁の亀裂



宅地地盤性能や擁壁断面などに問題がある箇所が、大きな地震力を受けたため、クラック（≒ひび割れ）が生じたと考えられます。

④ 擁壁隅部の亀裂



隅部は、お互いに擁壁が交わる箇所での引っ張りあいにより、被害が生じること多く、鉄筋等により適切な補強が必要です。

⑤ 電柱が立っている擁壁の崩壊



電柱等の異物が入っている場合、揺れ方が異なるため崩壊の原因となります。

⑥ 上部に建物がある擁壁の破壊



空石積擁壁直上に建物がある場合の例です。建物に被害を受けなくても、擁壁の破壊により危険な状態になることがあります。

⑦ 玉石積擁壁の崩壊



強度の不足と水抜き穴の未設置のため、大規模に崩壊しています。

⑧ ブロック塀の転倒



ブロック塀の裏に盛土があり、塀の強度が不足したため、転倒しています。

宅地の応急措置

応急措置は、一次災害が発生した直後の降雨や余震などにより被災擁壁や被災宅地の崩壊の拡大などが懸念される場合に、二次災害を防止・軽減を目的として、一次災害発生直後の短期間に行う措置です。

応急措置として一般的に次のような工法が行われます。



擁壁の倒壊防止：土のう積み、鋼材などによる支保



土留工：土砂流出を防止するための土のう積み、柵、ロックネットなど



雨水浸透防止工：亀裂などへの雨水浸透を防止するためのシート張、亀裂への土砂・モルタルの充填など



雨水排除工：被災宅地への雨水・流入水などを排除するための水路